

特集

札幌市立大学が開学

「デザイン」と「看護」の連携が、

この4月、デザインと看護の学部から成る札幌初の市立

【デザイン】 Design +

まちづくりの
基点としてふさわしい
大学が誕生



(仮称)札幌市立大学設置準備委員会
すぎおか なおと
杉岡 直人委員
(北星学園大学社会福祉学部長)

市が設置する大学は、市政と密接にかかわることができる上、市民との距離も近く、「地域の中核」となる可能性を秘めています。

札幌市立大学の学部は、医療・健康、芸術文化という市民の関心が高い分野。市政が担う福祉や医療、産業振興などをテーマに、市民向けの実践的な講座を開催すれば、大いなる反響が期待されます。「市民に開かれた大学」としてまちづくりの基点となるための、潜在的な能力を十分に備えているといえるでしょう。

この大学を中心に、市民をはじめ、他の大学・自治体や産業界とのネットワークが広がっていく、そんな将来像が見えてきます。



デザイン学部 芸森キャンパス

南区芸術の森1
地下鉄南北線真駒内駅から中央バス乗車
高等専門学校前下車、徒歩3分

- 1 母体 平成3年に開校した札幌市立高等専門学校
- 2 環境 芸術文化の発信の場「芸術の森」に隣接し、豊かな自然に囲まれている
- 3 校舎 2つの校舎を結ぶ「スカイウェイ」が特徴
日本を代表する建築家清家清氏が設計

デザイン学部



スカイウェイ全景

開学までの流れ

平成十三年 十一月	公募の市民、学識経験者から成る「大学化検討懇話会」を設置。大学の必要・方向性について議論
平成十四年 六月	審議経過や市民意見を踏まえ、「中間報告」を発表
平成十五年 十月	市に対して「最終提言」を提出
平成十五年 十一月	市は、提言を受け「札幌市立大学設置基本構想」を発表
平成十七年 十二月	デザイン・看護の専門家から成る「大学設置準備委員会」を設置。十七年四月まで学部・学科の構成、施設の整備を審議
平成十八年 四月	文部科学省から、大学設置の認可 札幌市立大学開学

デザインと看護の連携による相乗効果はもとより、先駆的な企業や医療機関が集積する道都・札幌の強みを生かして、世界にも類を見ない独自性あふれる大学を目指していきます。